

所沢市子ども・子育て会議
(平成28年度第2回)

会 議 録

平成28年8月30日

会議の名称	所沢市子ども・子育て会議（平成28年度第2回）
開催日時	平成28年8月30日（火） 午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	市役所高層棟7階 研修室
出席者の氏名	（会議録別表1）のとおり
欠席者の氏名	川音 孝夫（所沢市立小中学校校長会） 草刈 由美子（連合埼玉西部第四地域協議会）
説明者の職・氏名	
議題	議事 (1) 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて (2) 教育・保育の「量の見込み」及び教育・保育施設等の利用定員等について (3) 各種施策の評価について (4) その他
会議資料	・資料1：所沢市子ども・子育て支援事業計画 平成27年度見直し版 ・資料2：最新将来推計人口による教育・保育の「量の見込み」の変更 ・資料3：教育・保育施設の利用定員等について ・資料4：各種施策に係る委員意見に対する今後の考え方 ・追加資料：公立保育園の耐震化
担当部課名	本田こども未来部長 及川こども未来部次長 こども政策課：岸課長、瀧澤主幹、肥沼主任、豊村主任、中島主事 こども支援課：浅見課長 こども福祉課：市來課長 青少年課：森田課長、小池副主幹 保育幼稚園課：町田課長、野上主幹、小山副主幹 健康づくり支援課：松本副主幹 （事務局）こども未来部こども政策課 電話 04-2998-9415

(会議録別表1)

所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

	氏名	出欠席状況	選出母体等
1	近喰 晴子	出席	学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学
2	小松 歩	出席	学校法人 白梅学園 白梅学園短期大学
3	広瀬 正幸	出席	埼玉県所沢児童相談所
4	川音 孝夫	欠席	所沢市立小中学校校長会
5	高田 美智子	出席	所沢市民生委員・児童委員連合会
6	粕谷 治彦	出席	所沢市PTA連合会
7	小沢 貞泰	出席	所沢市放課後児童対策協議会
8	藤澤 拓也	出席	所沢市私立幼稚園協会
9	喜多濃 定人	出席	埼玉県保育協議会
10	藺田 公斗	出席	地域型保育事業運営団体
11	小松 君恵	出席	地域子育て支援拠点事業運営団体
12	水野 良司	出席	放課後児童健全育成事業運営団体
13	森田 純子	出席	所沢商工会議所
14	渡辺 良雄	出席	所沢地区労働組合協議会
15	草刈 由美子	欠席	連合埼玉西部第四地域協議会
16	リーガン 有香	出席	市民公募
17	高橋 航太郎	出席	市民公募
18	西村 克男	出席	市民公募
19	池田 亜希子	出席	市民公募
20	笹川 美千代	出席	市民公募

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>～ 開 会 ～</p> <p>■ 会議成立の報告</p> <p>■ 会長挨拶</p> <p>議事に入る前に、資料の確認と本日の会議の流れを事務局から説明をお願いします。</p> <p>お手元にお配りしております資料の確認をお願いいたします。 （資料の確認）</p> <p>事前の配付資料としまして、</p> <p>会議次第</p> <p>資料１：所沢市子ども・子育て支援事業計画 平成２７年度見直し版 資料２：最新将来推計人口による教育・保育の「量の見込み」の変更 資料３：教育・保育施設等の利用定員等について 資料４：各種施策に係る委員意見に対する今後の考え方</p> <p>委員名簿</p> <p>があります。</p> <p>また、追加資料といたしまして、公立保育園の耐震化を机上に配付しております。皆様、お手元におそろいでしょうか。</p> <p>次に、本日の会議の流れでございますが、はじめに、議題１として「子ども・子育て支援事業計画の見直しについて」、議題２として「教育・保育の「量の見込み」及び教育・保育施設等の利用定員等について」、議題３として「各種施策の評価について」ご説明を事務局から行い、それぞれの議題について皆様からご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>なお、この会議は、午後３時３０分までを予定しておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>■ 傍聴確認</p> <p>■ 傍聴者入場 （２名）</p>
<p>会長</p>	<p>本日の流れについては、先程事務局からの説明のとおりです。 それでは議題１の「子ども・子育て支援事業計画の見直しについて」</p>

<p>会長</p>	<p>事務局より説明をお願いします。</p> <p>～事務局より資料 1 に基づき説明～</p> <p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ないようでしたら、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>それでは、議題 2 「教育・保育の「量の見込み」及び教育・保育施設等の利用定員等について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>～事務局より資料 2、3 に基づき説明～</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局からの説明だと、保育需要の現状がなかなかわかりません。前回の会議でも発言しましたが、所沢市では保育園入園希望の方が 1,847 人いたそうです。この数字は、昨年度よりも増えています。前回の会議の事務局の説明では、微減ということでしたが、私は増えているのではないかと思います。その内、不承諾通知を受け取った方は、463 人です。この数字も、昨年度より増えています。これらのことを考えると、所沢市の保育需要は増えているのではないかと思います。市もご苦労なさっているとは思いますが、更なる支援をしてほしいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>不承諾通知を受け取った方 463 人についてですが、前回の会議でもご説明申し上げましたとおり、この中には、申込みをされた後、幼稚園へ入園された方、市外へ転出された方なども含まれております。ですから、463 人という数字がそのまま保育需要に結びつくものではないと考えております。</p>

委員	<p>前回の会議で、隠れ待機児童の問題が議論になりましたが、隠れ待機児童について、埼玉県に問い合わせをしました。県によると、今年度の県全体での待機児童数は、1,026人、不承諾通知を受け取った人数は、7,311人だそうです。つまり、6,285人は、いわゆる隠れ待機児童と捉えられるという旨の説明を受けました。この数字は、各市町村から報告が上がったものを埼玉県が集計したものだそうです。この隠れ待機児童には、求職活動を休止している、育児休業中である等4つの項目があるそうですが、所沢市でこの4項目に該当する人はどれくらいいるのですか。</p> <p>ちなみに、県によれば、4項目とは、家庭保育室等利用世帯、育児休業中の世帯、求職活動を休止している世帯、特定の保育所等のみの申込世帯のことを指すそうです。</p>
委員	<p>今の質問と関連すると思うのですが、前回の会議で事務局から、不承諾通知を受け取った方は463人、そこから市外へ転出したり、幼稚園に入園したり、色々な調整があって、最終的に待機児童数は11人という説明があったと思います。今の委員の質問への回答は、11人ということではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>不承諾通知を受け取った方に、近隣の他の保育所等をご紹介してもなお、特定の保育所のみを希望する方もいらっしゃり、そのような方を調整した上で、最終的に待機児童数は11人になりました。</p>
委員	<p>先程委員からご説明のあった4項目は、前回の会議録の2ページ目に記載されている「求職活動中の方、ある特定の施設1園のみを希望されている方、育児休業中の方等を調整した結果、待機児童数が11人となっています。」のことだと思ったのですが、隠れ待機児童は、この11名の他にいるということですか。</p>
委員	<p>待機児童の他に隠れ待機児童がいるということが、今年の3月、4月頃に話題になりました。隠れ待機児童について、埼玉県に問い合わせたところ、先程の4項目に該当する人が隠れ待機児童とみなされるという説明を受けましたので、所沢市ではどれくらいいるのか伺いたいです。</p>

事務局	<p>保育園に入れなかった人すべてが待機児童だとは思いませんが、入園申請をしても、枠が足りず、入園できなかったということですから、そこをしっかりと考えていかなければならないと思います。</p> <p>資料の確認ができましたので、委員のご質問にお答えします。平成28年度4月の待機児童調査において、埼玉県に回答した数字をお伝えします。まず、家庭保育室等利用世帯数ですが、現在所沢市には家庭保育室はございませんので、0名となります。次に、育児休業中の方が1名、求職活動を休止している方が32名、保護者の私的な理由により待機している方が113名、そして、待機児童が11名です。これらをすべて足しますと、157名でございます。</p>
委員	<p>前々回の会議で、幼稚園での小規模保育事業実施について事務局から説明がありましたが、今回の資料にはそのことについて記載がありません。その後、どのような動きになっていきますか。</p>
事務局	<p>幼稚園の小規模保育事業実施について、事業者に意向調査をする等調整しておりましたが、平成29年度から実事業実施予定の施設がなく、実施を見送ることになりました。</p> <p>幼稚園の小規模保育事業は、幼稚園が認定こども園に段階的に移行するためのものとして、実施に向けて調整を進めてきたところですが、事業者から、小規模保育事業を挟まず認定こども園に移行したい等の意向を伺いましたので、平成30年度以降の認定こども園への移行に向けて、今後も検討してまいりたいと思います。</p>
委員	<p>待機児童数0人という方向で動いていたと思いますが、幼稚園の小規模保育事業がなくなったことで、どのような影響がありますか。待機児童対策の柱がなくなってしまったように思います。</p>
事務局	<p>待機児童に関しては、年々減少しており、計画上も平成29年度以降は解消される見込みとなっております。この計画は、国の基本方針に基づき策定した計画です。今のところ新たな施設整備も必要ないと考えております。平成30年度以降幼稚園の認定こども園への移行が進めば、そちらで枠の確保ができると考えております。</p>

委員	<p>枠が確保されていることについて、具体的にどこに記載されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>子ども・子育て支援事業計画に記載がございまして、本日の会議資料ですと、資料3の9ページでございます。こちらに、PDCAサイクルに沿って見直した、市内全体の量の見込みと確保の内容を記載しております。</p> <p>例えば、平成28年度の3号認定こどもの0歳児をご覧ください。充足量は、当初の計画では、23余剰となり足りる見込みでしたが、見直しをしたところ、3不足となり足りない見込みとなりました。しかし、平成29年度以降は足りる見込みとなっております。計画上では、充足している、確保されているという形になります。</p>
委員	<p>資料3のこの表で考えると、今年度は待機児童いないはずですが、実際には待機児童がいます。ですので、単純にこの表だけで充足量を考えるのは難しいと思います。実際がどうなっているのか、ということをつかんでいただきたい。どうしたら枠を確保できるのか考えてほしいと思います。</p>
委員	<p>私のグループでは、全国に400園程ある地域型保育事業や認可外保育施設を運営しております。先程、保育所に入園申込みをした人が1,847人、そのうち不承諾通知を受け取った人が463人いるというお話がありましたが、運営側の実感としては、申し込んだ人の中には、本当に保育園への入園を希望されている人もいれば、そもそも入園基準を満たしていない人や、念のために申し込んでいる人もかなりいます。不承諾通知を受け取った人数は、そのような方たちや、事務局のお話にもあったように、幼稚園に入園する予定の方等を含めた数字になっていると認識しています。</p>
委員	<p>私は、子ども・子育て支援新制度の良さというのは、どの家庭でもどの形態の施設に入ることができることだと思います。保育園に入れなくて、一時預かり保育を利用せざるを得ないという現状が今あります。本来は、一時預かり保育というのは、一時的に保育が必要となっ</p>

<p>委員</p>	<p>た人が利用すべき制度なのに、なかなか待機児童問題が解消されず、継続的に一時預かり保育を利用している人がいます。保育需要を勘案して、枠を確保していかないと、本来、一時預かり保育が果たすべき役割が果たせられないと思います。この問題を解決するために、やはり保育施設の充実が必要であると考えます。公立保育園の果たすべき役割があると思います。新しい施設を造るのではなく、別の方法で解決できればと思います。</p> <p>先程、事務局から幼稚園の認定こども園化や、小規模保育事業についてお話がありましたが、皆さんが考えているほど、実施するのは簡単ではありません。</p> <p>幼稚園は本来3歳から5歳までのお子さんをお預かりする場なので、0歳から2歳のお子さんをお預かりするノウハウを持っていません。ノウハウを持っている人を探そうにも、そんな簡単に見つかるものでもありません。仮に、探せたとしても本当にその人にお任せできるのか、保育の質が保てるかという不安があります。保育であったり、教育であったり、お子さんをお預かりするには、2、3年準備期間がどうしても必要になります。それから、0歳から2歳までのお子さんをお預かりするにあたって、施設面での投資が必要になります。投資できるだけの財力、体力があるか、という問題があります。国や県から助成を受けて、お子さんをお預かりする、という理念を持って臨まないで、なかなかハードルが高いと思います。</p> <p>また、実際に認定こども園に移行した場合に、果たして本当に運営していけるのか、という問題があります。現在、認定こども園は、120人から130人、一説によると80人から100人くらいの規模の幼稚園、保育園にとって都合のよい財政状況になるような公定価格が設定されていると言われていています。ですので、現時点でそれを超える定員数の幼稚園は、移行すると赤字になってしまいます。そうになると、職員を養えず、やっていけません。では、なぜ認定こども園に移行するのかというと、それは理念があるからです。最初の数年間は、貯蓄しているお金を取り崩してでも認定こども園になろう、という理念がないと、なかなか足を踏み出せない、というのが現状です。幼稚園に期待していただくのは、大変ありがたいのですが、そう簡単にはいかないことをご理解いただければと思います。</p>
-----------	---

<p>会長</p>	<p>一時預かり保育につきましては、議題3でとりあげられておりますので、他にご意見がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>それでは次に、議題3の「各種施策の評価」について事務局から説明をお願いします。</p> <p>～事務局より資料4に基づき説明～</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>№. 7の今後の考え方に記載されている企業主導型保育事業は、今年の春に突然内閣府から発表されたということで、記憶に新しい事業です。保育所は、質の担保が大切ですが、この事業の職員の資格の基準は小規模保育事業のB型に準じることとされています。ですので、市内の企業がこの事業を精力的にやっっていこうとすると、半分は保育士、残りの半分は子育て支援員という資格を持った人を採用しなければなりません。しかし、この子育て支援員という資格を取得するための仕組みがまだ整っておりません。地元の心ある企業の方と協力してやっっていこうとする姿勢は感じますが、実際は、子育て支援員の養成が追いつかないのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>そうですね。子育て支援員同様に、放課後児童支援員についても養成が追いついていない、というのが現状だと思います。</p> <p>他に、ご意見、ご提案等ございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>一時預かり事業についての今後の考え方を伺って、現在と状況は変わらないと思いました。うちの子どもは、隠れ待機児童になって、妻は育児休業を半年延長しましたが、それでも保育園に入れず、結局一時預かり事業を利用して、仕事復帰しました。6月に子どもが生まれて、半年育児休業を延長して、12月には仕事復帰しなければならなかったのですが、その時期は子どもの入退園のタイミングではありません。そのため、保育園の空きがなく、市から一時預かり事業を紹介</p>

	<p>していただいて、継続的に利用することで、妻は仕事に復帰することができました。そして、この春に、再度入園申込みをして、やっと入園することができました。やはり保育園の定員が増えないと、一時預かり事業を利用せざるを得ない状況にあると思います。一時預かりと言いながら、どうしても継続的に利用しなくてはならず、病院に行くとか、本当に一時的に預かってほしい人が預けられない状況だと思います。どうしたらこの問題が解決できるか、もう少し具体的な考えを示していただいたほうがわかりやすいです。この今後の考え方では、若干ぼやけていると感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局は、一時預かり事業がどの程度利用されているか把握していますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>継続的な利用と一時的な利用の利用者数の集計についてですが、平成27年度の利用者数は、私立園では延べ16,551人、そのうちいわゆる緊急、一時的ではない利用者数は延べ13,729人でございます。公立園では延べ1,039人、そのうち一時的ではない利用者数は825人でございます。</p>
<p>委員</p>	<p>No. 7に「所沢市の民間保育施設での就職を考えている保育士（職場復帰を望む方やこれから保育士を目指す学生等を含む。）を対象に、就職説明会を開催しており」と記載がありますが、今年度も9月25日に児童館、児童クラブも含めた就職説明会が開催されると伺っています。</p> <p>昨年度の就職説明会には、どれくらいの事業者が参加して、どれくらい就職に結びついたのか、またこのやり方が効率的なのか教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年度、平成28年1月17日に開催し、参加事業者数は33事業者でございました。来場者は48人ということでございます。市としては、説明会の場所を提供した形ですので、就職に結びついた正確な件数については把握しておりませんが、雇用に向けて12名の方が協議に入ったという報告を受けております。参加事業者に実施したアンケートによると、「市がこのような場を設けてくれてありがたい」「毎</p>

	<p>年実施してほしい」というご意見をいただきましたので、今後も、開催時期等も見直しながら実施してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>10月から最低賃金が東京都の場合932円、埼玉県の場合は845円に引き上げられます。今、所沢市の公立保育園のパートタイム職員の賃金はいくらですか。</p>
事務局	<p>有資格の保育士は、960円でございます。</p>
委員	<p>東京都では、無資格でも932円です。公立保育園でも960円ならば、民間保育事業者が募集をかけても、人を集めるのは非常に難しいのではないかと思います。他により良い案はないのかと思います。</p>
委員	<p>今、960円と伺って高いと驚きました。パートタイム職員に960円出していたら、幼稚園はつぶれてしまいます。最低賃金くらいの賃金で雇っているのが現状です。東京都では、相対的な運営費の補助、という形で助成があるようですが、所沢市では、そのような人材確保に関する助成がありません。東京都のほうへ人材が流れていってしまいます。また、例えば保育士の賃金を1,000円に引き上げると、ますます幼稚園は人材の確保が難しくなってきます。今、幼稚園では募集をかけても1年間応募がない、というのが現状です。</p> <p>人材バンクや、人件費の差額分の補助等もう少し本腰を入れていただかないと、人は絶対に集まりません。東京都や神奈川県で運営されている名の知れた幼稚園40園集まって、帝国ホテルで就職説明会を実施されたそうですが、20人しか集まらなかったそうです。養成校にお願いしても、一般企業のほうが賃金が良いので、そちらに流れてしまいます。人材集めにもっとお金をかけて本腰を入れて取り組まないと、人は集まらないということを肌で感じております。</p>
会長	<p>就職説明会は、できましたらもう少し早い時期にやっていただけると、就職の決まっていない学生にとってはありがたいのではないかと思います。</p>
委員	<p>No. 2の乳児家庭全戸訪問事業についてですが、現在も民生委員</p>

	<p>と保健センターの連携はとれており、協力させていただいています。ただ、問題が起きてからの対応というのが現状です。乳幼児の健康診査を受診しない家庭がありますが、そのような家庭は、小学校、中学校と上がっていく中で、問題が起きる可能性が大きい家庭です。ですから、問題が起きてからではなくて、私たち民生委員が自分の地域の中でそのような家庭を事前に把握しておいて、普段から両親と顔見知りになって、声をかけられるような関係性をつくりたいという思いがあります。連携して支援していただくだけではなく、支援が必要になる前に、民生委員と協力できる体制を整えていただけたらと思います。</p> <p>№. 5について、園庭の確保が難しいということですが、所沢駅周辺には長者久保公園と北の台公園があると思います。今も、園庭を持っていない保育施設が、公園を園庭代わりとして利用しているというお話を伺っております。駅の中に保育園を造る場合、必ず園庭が必要なのか、公園を園庭の代わりとして利用できないのか教えてください。</p>
事務局	<p>№. 2の乳児家庭全戸訪問事業については、多くの家庭を訪問する事業ですので、体制の整備等調整しなければならないことがあります。貴重なご意見としてお預かりして、課内で検討していきたいと思えます。</p> <p>№. 5の駅の中の保育園についてですが、先程委員からご指摘のありましたとおり、所沢駅周辺には長者久保公園や北の台公園がございいますが、ここはすでに近隣の民間保育園の園庭の代替場所として指定されている公園でして、ここを園庭として利用するとなると、現在の利用園と調整する必要があります。また、駅の中の保育園は、資料にお示ししておりますとおり、避難経路の確保も難しいことから、慎重に検討してまいりたいと思えます。</p>
委員	<p>園庭については、今のご説明でわかりました。乳児家庭全戸訪問事業についてですが、民生委員が全部の家庭を訪問するのは難しいと思えます。民生委員の現状を考えると、これ以上活動を増やすのは不可能です。私の希望は、民生委員が担当している地域の中で問題があるご家庭がいらっしゃれば、その情報を事前に教えてほしい、ということです。子どもの年齢が上がれば上がるほど、問題を解決していくの</p>

委員	<p>は難しいです。中学校を卒業してしまうと、子どもの情報もなかなか入ってきません。問題がある家庭というのは、親に問題がある場合が多いので、親と関わって、できるだけ小さなうちから芽を摘み取れるようにしたいと考えております。ぜひ、その点に関してご検討よろしくお願ひいたします。</p> <p>駅の中の保育園について、テレビでも取り上げられていますが、仮に基準を満たしたとしても、果たして駅の中の保育園は本当に安全なのだろうかと疑問に思います。想像していただきたいのですが、例えば所沢駅は、テナントがたくさん入っています。そのような場所に保育施設ができたとして、仮に大震災が発生した場合に、施設から出なくても良いような状況であれば良いですが、施設から出て安全な場所に避難しなければならないとき、大人がたくさん溢れかえっている駅で、保育士の先生たちが子どもたちを引き連れて安全に避難できるかということ、とても難しいと思います。保育施設が足りないからと言って、安易に駅の中に保育園を造るというのはあまり現実的ではないと思います。別の方法で解決していくほうが良いと思います。</p> <p>一時保育について、今、地域型保育事業では一時預かりの実施は認められていませんが、例えば面積に対する基準よりも定員を少なく設定して、面積に余裕があったり、定員に空きがあったりする場合等、地域型保育事業で一時預かりを実施する仕組みを独自につくれないのでしょうか。実際に、私の運営している地域型保育事業の施設では、定員に対して基準よりも広い面積を確保しています。職員数も基準を満たしているのであれば、一時預かり事業を実施することによって、少しは問題解決につながるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>今委員からいただいたご意見につきましては、内部で検討させていただきます。</p>
委員	<p>№. 7の企業主導型保育事業は、一時預かり事業も実施することができ、施設整備費の助成対象になります。その助成は、2年間企業の雇用拠出金というところから出るので、所沢市の負担にはなりません。また、従業員のお子さんだけでなく、地域のお子さんも定員の半分まで預かることができますので、今話題になっている隠れ待機児童</p>

	<p>対策にもなりうると思います。一時預かり事業の補助も出ますし、ひろば的な地域交流事業もできます。設備補助は2年間、運営補助は恒久財源ということですので、待機児童対策として有効ではないかと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>話が戻ってしまいますが、待機児童の問題で、駅の中に保育園を造ることは難しいということでしたが、小中学校の空き教室等を利用して、未就学の子どもを預かることは検討されていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>小中学校の中の保育園は、全国的にはまだ少ないですけれども、いくつかございます。市でも、市内の小中学校の転用可能教室を確認しましたが、なかなか保育園1園分くらいの規模の空き教室がございませんでした。空き教室が確保できないと、実施は難しい状況でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>お時間も迫ってまいりましたので、その他にご意見等ないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>それでは、議題4「その他」について事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>～事務局より追加資料に基づき説明～</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、この件に関しましては、今現在、該当園を利用する保護者に対して説明会を実施している最中とのことですので、事務局の言うとおりの報告のみとさせていただきます。</p> <p>事務局から、その他何かありませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回子ども・子育て会議の開催日について、具体的な日にちはまだ決まっておりませんが、2月頃を予定しております。決まり次第、通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>こどもと福祉の未来館が来年1月からオープン予定となっており、2階部分にこども支援センターが設置されます。回りの会議は、こども支援センターの視察も兼ねて、こどもと福祉の未来館で開催を検討しております。</p>

<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から次回の会議について説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>ご質問等ないようでしたら、以上で本日の議事はすべて終了いたしましたので、事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>閉会にあたりまして副会長よりご挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>■ 副会長挨拶</p>
<p>事務局</p>	<p>以上で、平成28年度第2回の子ども・子育て会議を閉会いたします。</p> <p>～閉会～</p>